

冬 号

放射線技術科支部会誌

Vol. 2



川崎医療短期大学同窓会

Content 〈目次〉

松丘会会長に就任して	北山 彰	1
川崎医科大学附属病院 中央放射線部部長を拝命して	梶原 康正	2
年頭にあって	松宮 昭	3
後輩諸君へ 倉友会10周年記念式典予告	小川 正人	4
後輩諸君へ	松田 英治	6
肌が感じたエンジン音	吉田 耕治	7
診療放射線技師一年生の心境	木戸 善朗	8
トピックス 第4期生（S58・3卒）同窓会案内他		9
編集後記		

松丘会会長に就任して

川崎医療短期大学同窓会（松丘会）

会長 北 山 彰（第1期生）

放射線技術科同窓生のみなさんお元気ですか。仕事に忙しい人，子育てに忙しい人，恋愛に忙しい人など，それぞれがそれぞれの環境の下で頑張っておられることと思います。

さて「松丘会（しょうきゅうかい）」ってご存じですか？倉敷市松島の丘と言えはすぐにみなさんの卒業された川崎医療短期大学を思い浮かべるとと思います。正門から校舎棟へ上がる坂道に植えられている梅の木々，学生玄関前の芝生，桜の木々，体育館から校舎棟へのきつい学長坂（健康坂？）など。その川崎医短大の同窓会の呼称が「松丘会」です。松丘会は昭和50年発足以来17年を数え，現在の会員数は5406名（1N：951名，2N：776名，MT：812名，RT：686名，MS：1461名，MN：369名，ME：100名，MS通教：250名）の大組織であります。私は，先日その松丘会の臨時代議員会にて光栄にも第4代会長に就任いたしました。この度の放射線技術科支部会誌第2号の発刊にあたり紙面を割いていただきましたので，松丘会の組織，活動などについて説明させていただき，みなさんのより一層のご理解とご協力をお願い致します。

松丘会は本部および各科支部から構成され，主な活動は各科支部に任されており，放射線技術科支部も末森慎治支部長を中心に支部会誌創刊号（p10～11）に記載の役員の方々により運営されております。また各科支部には地域支部を設立することができ，放射線技術科支部にも九州山口地域支部：倉友会〔代表：小川正人氏（1期生）〕があり大変活発に活動していただいております。

松丘会本部の運営は主に会長，副会長，各科理事および各科支部長によって行われておりますが，年1回以上開催される代議員会では各科各期の代表者である代議員も交え，本部および各科支部の予算決算，事業報告，事業計画が提案検討，承認されております。また本部の事業は，内容によって事務局，渉外調査局あるいは企画局で実施されています。放射線技術科支部からの理事として荒尾信一理事（8期生）には渉外調査局で会員名簿の管理について，また天野貴司理事（11期生）には企画局で主に卒業記念品についてご苦労いただいております。本部の最近の大きな事業としては，昨年，5年に1度の全体名簿の販売を行い，今年は会報の発刊を予定し，また1995年の松丘会20周年記念事業についても検討を始めております。本部の経費は入会時（卒業時）に徴収する入会金および会費でまかなわれておりますが，それらの収入の内，約10％は卒業時の記念品としてただちに卒業生達に還元され，また20％は各科支部援助金として各科に分配されております。

紙面の関係上，説明が十分ではありませんが，松丘会について疑問に思うこと，ご提案，ご助言などあれば，何でも結構です，各期代議員，支部長あるいは直接私までご連絡ください。みなさんの松丘会をみなさんの参加意識の起こる充実したものにしていきたいと思っております。

私自身，松丘会会長の重責が無事果たせるかどうか分かりませんが，微力なりに最善をつくしたいと思っております。放射線技術科支部のみなさん，どうかご支援ご協力をよろしくお願い致します。

川崎医科大学附属病院 中央放射線部部長を拝命して

川崎医療短期大学放射線技術科

教授 梶 原 康 正

西下創一先生におかれましては平成4年3月31日付をもちまして川崎医科大学を定年退任されることとなり、名誉教授になられました。川崎医療短期大学放射線技術科の主任教授は続けていただけます。西下創一教授の後任として平成4年8月1日付をもちまして川崎医科大学放射線医学（診断）の教室を担当させていただくことになりました。

これと同時に川崎医科大学附属病院中央放射線部部長の重責をもあわせてお引受けさせていただくことになりました。初代部長の西下先生があまりにも偉大すぎましたのでこの重責が引継いでいけるかどうか不安ではありますが、中央放射線部の日地技師長さんはじめ皆様のお助けをお借りして西下部長の築かれた素晴らしい附属病院中央放射線部を守っていきたいと思っています。今後とも一層の御指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成4年8月現在で川崎医科大学附属病院中央放射線部には診療放射線技師の資格を持った技師さんが31名おられます。そのほかに北山先生、荒尾先生、天野先生の3名が短大放射線技術科の教官と兼任で頑張ってくれています。かれら3名と合せて34名の内22名が川崎医療短期大学放射線技術科を卒業した松丘会のメンバーで占められています。来春にはさらに3名の川崎医療短期大学の卒業生が加わってくれることになっているようです。

松丘会のメンバーの中放部の技師さんたちが放射線技術学会や技師会で頑張っておられることは皆さんの御存知のとおりです。これからも頑張ってくれるものと期待しています。同窓生の皆様には彼等にもあたたかいはげましのエールと大きな支援を送ってあげて下さい。宜しくお願いします。

最近の医療技術の進歩はすさまじいばかりでいままでに身につけた技術、知識のみに満足をしていては最新の医療技術にはついていけなくなるといわれています。医療の社会に身をおく以上勉強を続けなければならないのは宿命と受止めて、お互いに頑張っていきましょう。同窓生の皆様の益々の御活躍を楽しみにし期待しています。

年頭にあたって

川崎医療短期大学放射線技術科

助教授 松 宮 昭

みなさん新年おめでとうございます。はからずも、本誌の新春号に寄稿させていただく機会を得て、紙面を借りて久しぶりにみなさんに年頭のごあいさつができることをたいへん嬉しく思います。

筆を執りつつ、懐かしい顔顔顔……が次々とうかびます。早や卒業生を送り出すようになってから十数年が経過しました。学生時代はまだ親の遺伝子をうけ継いだ顔付きであった人も、いまではそれぞれに人生経験の年輪が加わり趣のある容貌になっておられることと想います。

さて、新年を迎え私は次のようなことを考えてみました。人は何事によらず連続的に、しかもゆるやかに変化していくことを認識するのは、なかなか困難なことです。そして気付いた時にはもう手おくれで対処できないという場面が多いのです。そこで昔の人はよく考えついたもので、時間の経過を一年毎に区切り、他の年と比較して微妙な変化を特徴付け、これから先の一年を前年より向上させる方法を知っていたのです。これは真にデジタル分析の発想に通ずると思います。したがって、正月は人生のA/D変換器の役割が大きいと考えます。デジタル化はやや粗っぽい欠点はある代わりに、分析しやすい利点があります。

ついでに、もっと粗い分析を試みましょう。いまや人生80年といわれています。これを20年ずつ4つの段階に分けて考えることができると思います。初めの20才までは主に身体の発育の期間で、特殊な分野を除いてあまり個性を発揮する場はありません。次が20～40才ここが人生のハイライトです。この時期をいかに過ごすかで人生が決まるといっても過言ではないでしょう。いま、みなさんの大半がこの時期にいることを再確認してほしいのです。40～60才、ここでは主に、20～40才の間に培ってきたことを後進に伝えていく年代でしょう。私はいまこの時期にいることを自覚しなければなりません。最後は60才～、悠々自適で自由になれる期間と思われれます。

このように考えてくると、人生80年といえども、実はたったの20年ほどの間に成し得たことを引きずって生きているに過ぎないのです。

新年早々にわかりきったことを、とわれながら思いつつ筆を進めてきましたが、日頃わかってはいるがなかなか実行のできないことを、あらためて自分に云い聞かせるのも新年の意義でありましょう。

みなさんにとってよき一年になりますように、そしてついには、80ピクセルで素晴らしい人生模様が画けますように。

後輩諸君へ ～初心へ戻り見つめ直すことの重要性～

産業医科大学病院

倉友会会長 小 川 正 人（1期生）

「目的は何なのか……そのためには今、何をすべきか」

これが私のモットーであり、例えその目的が遊びであっても常に前向きに考えたい。

人生は80年時代、子供にそして孫に誇れる人生を、例え悪いことであっても無駄なことであっても経験がその人を大きくすることを教えて欲しい。最近の教育は良いことだけを押し付け、思考すること、反省することの重要性を教えていない。

再思考と言う点で以下のことについて考えてみた。

1. 診療放射線技師の社会的地位と将来への展望
2. 診療放射線技師としてすべきこと（必要条件）
3. 将来へ向けてすべきこと（努力）
4. 同窓会の必要性

本来、診療放射線技師の仕事は医師の手助的な要素が強く、その歴史も50年に満たない。学問的にも医学、看護学、薬学が確率されているのに対し、放射線技術学なるものは存在せず、教育も短大とか技師学校と技術養成所の域を脱していない。

「診療放射線技師？ ああレントゲン技師ね」といわれ、恥ずかしいやら悔しい思いをしたのは私だけではないだろう。

今でも入学した当時の柴田大学病院長が「君達はテクニシャンではなく、テクノロジストに成りなさい」そう言われたのが思いだされる。

ただ単に医師の指示に従い写真を撮るだけで、篠山紀信のような芸術的才能もなく、医者のような臨床的知識もなく、訓練すれば誰にでも出来る、そんな仕事で良いのだろうか？ それにしては給料が高い！ これは自分に支払われているのではなく職名に支払われており、技師学校の乱立を規制した技師会のおかげとも言える。ただし、これが災いして技師の社会的レベルの低さを指摘されているのも事実だろう。

(社)日本放射線技師会も近年急激な動きを見せ、大学を作ったり、講習会を開催したりと会員の教育、放射線技師の地位向上に精力をつぎ込んでいる。今後、診療放射線技師という名称の変更や、技師免許のランク付け、更新制度等が考えられているが、後で後悔することのないよう、時代の変化に乗り遅れないように、今何をすべきか、将来へ向け何をすべきかもう一度考えて頂きたい。

同窓会については単にレクリエーションではなく、情報交換や自己研鑽の場と考え、活躍している同級生や先輩後輩から刺激を受け、知識や情報を吸収することを目的としている。職場の環境もあるが、自己啓蒙の場はたくさんあり、同窓会もその一つと考えてほしい。

過去は反省するだけで、悲観し停滞する必要はない。人には引っ張るタイプと引っ張られるタイプとがあるが、なまくらな中途半端な考えは排除し、現在の自分と将来を考えて、常に動いている車の一部であって欲しいと願っている。

倉友会10周年記念式典開催のご案内

これまで地道に活動してきました九州・山口地域支部は名称を倉友会——倉敷で共に学びし、共に遊びし仲間達——と称し、平成5年に10周年を迎えます。

これを記念し、式典並びにパーティーを開催致しますので倉友会会員だけでなく、放射線技術科同窓会だと思って各地より多数のお集まりをいただければ幸いと思っております。

また、オプションツアーとして九州では長崎ハウステンボスと並び称せられるスペースワールドを予定しておりますので、夏休みの家族旅行をかねて、ご家族連れでの参加をお待ちしております。

なお、詳細については6月発行予定の放射線技術科支部会誌に掲載予定です。

放射線技術科同窓会のご案内

放射線技術科同窓会を地域支部倉友会10周年記念と併せて行うことを検討中です。

倉友会は地域支部のモデルケースとして精力的に活動が続けています、今後更に会員相互の団結を強めることから、また各地で地域支部の輪が出来るように各地区の参考にして下さい。

放射線技術科支部長

後輩諸君へ ～ステキな生き方してますか～

川崎医科大学附属病院

松 田 英 治（第1期生）

新春のお喜びを申し上げます。

さて、あまりにも大きなテーマを頂き、しばらく頭を抱えていましたが、“まだまだ青春真っ只中”と自負している関係上、先輩としてではなく一人の社会人として、今私の思っていることを書き綴ってみます。

「石の上にも三年」と言いますが、三年も同じ仕事をしていすると、仕事には慣れ日々の生活もマンネリ化し、ふと気がつくと始めて社会に飛び出した時の夢と目標を忘れ、ただ職場と家の往復を繰り返す…そして、ある年令に達すると紙きれ一枚で職場へのパスポートが無効になってしまう。これがサラリーマンの現実です。もしかして、あなたもこの道を歩んでいませんか。

幸か不幸か、医療の世界は日々進歩を続け放射線技術学の分野も、より高度なものに発展しつつある今日、向学心さえあればマンネリ化した職場でさえも、自分の才能を十分に発揮し、満足のいく時間が過ごせるでしょう。しかし、充実した生活を送ることは非常にむずかしいもので、現在も診療放射線技師を続けている人、他の職種に変わった人、主婦の人、それぞれの立場と環境でその満足感は違って来るでしょう。

「私達の施設は公立ですけど、勤務時間が長いわりに給料が安いようで、職員の定着が非常に悪いです。それに汚い仕事ですから」（施設勤務の女性、27才）「あまったれてますよ。本当に子供たちのことを考えてたら、自分の仕事をなげだしたりできないはずですよ。あなた達は本当に仕事を理解してやっていますか」（北海道の女性、24才）この会話は、私がある大学のゼミで京都の身体障害者施設を見学した時の一幕です。背筋の痒くなるようなクサイ会話をなぜ私がいつまでも覚えているのかと言いますと、北海道から来ていた女性が目の醒めるような美人であったこと、このあと彼女が自分の仕事の環境と人間関係を話しながら、大粒の涙を流したことがとても印象に残ったからです。彼女も地元施設に勤めていますが、給料は京都の女性の半分（食生活がやっとな）、それでも彼女は夜アルバイトをしながら、自分の選んだ仕事を続けていたのです。彼女は障害を持つ子供たちから、どれほど自分が必要とされているかを知り、子供たちと接する一瞬一瞬を大切にすることによって、辛抱するのではなく、やりがいのある時間を送っているのでしょう。私は最初、施設見学と女性の話を聞いたとき、もっと楽しくて収入になる仕事は他にたくさんあるのにと、定着率が悪いことに納得していました。けれども美人の涙を見た瞬間、”ほんとうにステキな生き方をしているな”と羨ましく思ってしまった。

新人類とよばれる後輩諸君とは、仕事や遊び諸々に考え方が違ってきていると、近ごろ痛切に感じています。しかし、いろいろな世代の人たちに出会うと自分に足りないところもよくわかり“今の自分に満足してしまったらおわりだな”ということもよくわかります。ありきたりの仕事や生活に満足せず、かといって自分をより以上に大きくみせようとしないで、充実した日々が送れるよう肩肘張らずにがんばってみませんか。

肌が感じたエンジン音 ～F1日本GPにて～

川崎医科大学附属病院

吉田 耕治（第10期生）

「来年も絶対観に来るでー。」

去年のF1日本グランプリが終わって、みんな口々にこう言っていた。

やっとの事で手に入れた自由席のチケットを握りしめ、決勝前夜から場所取りのために、サーキットで一夜を過ごす。

頭まで寝袋にくるまっていると、顔に水滴が落ちてきた。自分のはいた息が寝袋にあたり、水滴となってポタリ、ポタリと落ちてきていたのだ。10月下旬、鈴鹿の夜は冷え込む時期にあたる。

今年のF1日本グランプリは指定席を取ることができた。100枚近い応募はがきを出し、当たったのは1枚のみ。それが指定席券だった。

自由席で、目の色を変えて場所取りをしている人達を尻目に、E席21列07番を捜して余裕の笑顔。

去年は、ナマでF1グランプリを観るのが初めてだった。あのエンジン音に思わず全身の毛が逆立ち、鳥肌が立ったな、などと思い出しながらレースを待つ。

一瞬サーキットの空気が張り詰める。「ヴァン・ヴァン・ヴァン・」。す速いシフトダウンのエンジン音とともに、セナの車が信じられないスピードで、第1コーナーに進入し、凄まじい排気音を残して消えていった。

「おー、ぼっけえー（岡山弁で凄いと言う意味）。」全身の毛穴がちぢこまって肌がブツブツになってしまった。

自動車のエンジン技術の結晶であるF1エンジンの音は一味違う。特に“走る実験室”と呼ばれたホンダのエンジン音は私を魅了してしまった。たかが自動車のエンジン音と排気音なのに、“ホンダサウンド”という人もいる。やはり頂点を極めたものは美しい。とりわけホンダエンジンのように、試作に次ぐ試作の上にできたものは、そうなのかもしれない。

「1パーセントの成功は、99パーセントの失敗の上に成り立っているんだ！」この言葉といっしょに、かえるが柳にとびつこうとしている絵を描く。これはホンダの創始者故本田宗一郎氏がサインを求められたときの決まり文句だった。

この言葉がホンダF1エンジンの音から聞こえてくるような気がした。

肌を鳥にしながら感じてしまったのは私だけだろうか……。

（1992年12月）

診療放射線技師一年生の心境

笠井外科病院

木 戸 善 朗（第13期生）

新春のお喜びを申し上げます。

さて、放射線技術科支部会誌新春号の寄稿依頼を受け、大変恐縮しております。

私は放射線技術科を平成4年3月に卒業し、現在広島県尾道市内の笠井外科病院に勤務しております。職員の50名、ベッド数47床、主な業務はCT検査、一般撮影、消化管造影検査、骨塩定量測定等です。

勤務して1カ月目で一般撮影のX線管を飛ばしたこともあります。また、撮影方法、撮影条件等の設定、CTのウインド幅やレベル幅等の設定、また骨塩定量測定機器の購入等では、保健所への届出書類の作成、漏れ線量の測定とわからないことがあれば、そのつど院長先生、母校の先生方、地元放射線技師会の先輩等へ、電話質問したり、足を運んでは指導していただいております。

社会に出て痛感したことは、まず解剖の知識、看護の知識、各種放射線機器の習得の乏しさでした。CT撮影はできたものの読影ができない為医師との会話にならない。看護婦さんから検査等の質問を受けても正確に即答できない。このような状態からのスタートでした。

「医療短大で教えてもらったことがありません。機種が異なるので撮影できません。」の責任転嫁は診療放射線技師一名の個人病院では通用しないのです。放射線検査等の責任はすべて私にあり、医療短大で習得したことは、ほんの一部の原理的なものでそれを一つ一つまわりの先生方の御協力と御理解を得、工夫し少しでも患者さんに還元して自分自身も向上して行くことだと日々努力しています。

今日では技術的にはどうか形になってきましたが患者さんは私達と同じ心を持った人間です。高い所から話かける態度は絶対にとらない。私の一挙手一投足、すべてに患者さんは注目しております。丁寧な言葉でわかりやすく検査説明をしなければといつも心掛けて日々業務をしております。

最後に在学中、川崎医科大学附属病院及び短期大学の諸先生方には大変御世話になりました。卒業後も大学病院の各部門の先生方に御指導していただき心より感謝しております。又、松丘会の先輩方には、今後学会等でお会いすると思いますが今後共宜しく御願ひ致します。

トピックス

[平成5年度、川崎医療短期大学推薦、一般入学試験案内]

推薦入学試験

1. 日程

願書受付期間	試験日	合格発表
平成4年 11月26日(木)) 12月4日(金) [必着]	12月10日(木)	12月18日(金)

2. 学科・募集人員

学 科	募集人員
第二看護科	約40人
放射線技術科	約5人
医療秘書科	約15人
医用電子技術科	約10人

3. 出願資格

第二看護科	平成5年3月高等学校(衛生看護科)卒業見込みの者。又は、高等学校を卒業し、准看護婦の免許取得者(今年度取得見込みの者を含む)で、ともに本学への進学意志が確実(専願)で、准看護婦養成学校長の推薦が得られる者。
放射線技術科 医療秘書科	平成5年3月高等学校卒業見込みの者で、本学への進学意志が確実(専願)で、かつ調査書の評定平均値が3.5以上である者。ただし、医用電子技術科志願者は、上記の

医用電子技術科	外に数学又は理科(工業に関する学科においては、数学又は工業)の評定平均値が4.0以上である者。
---------	---

4. 試験科目

第二看護科	小テスト(国語Ⅰ・看護)、小作文、面接
放射線技術科	小テスト(数学Ⅰ)、面接
医療秘書科	小テスト(国語Ⅰ・英語Ⅰ)、面接
医用電子技術科	小テスト(数学Ⅰ)、面接

一般入学試験

1. 日程

願書受付期間	試験日	合格発表
平成5年 1月12日(火)) 1月27日(木) [必着]	学力試験 2月5日(金) 面 接 2月6日(土)	2月15日(月)

2. 学科・募集人員

学 科	募集人員
第一看護科	50人
第二看護科	約10人
臨床検査科	50人
放射線技術科	約45人
医療秘書科	約85人
医用電子技術科	約40人

3. 出願資格

1. 高等学校を卒業した者及び平成5年3月卒業見込みの者。
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成5年3月終了見込みの者。
3. 文部省令により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成5年3月31日までにこれに該当する見込みの者。
4. 第二看護科は、上記の外に准看護婦免許証を取得した者、及び平成5年3月31日までに取得見込みの者。

4. 学力試験科目

学科	科目	指定科目				選択科目				適性検査
		英語Ⅰ・Ⅱ	英語Ⅰ	国語Ⅰ・Ⅱ	数学Ⅰ	看護	物理	化学	生物	
第一看護科		○		○				○		
臨床検査科		○		○				○		☆
医療秘書科		○		○				○		
放射線秘書科		○			○			○		
医用電子技術科		○			○			○		
第二看護科			○	○		○				

○は1科目選択

上記の通りであるが放射線技術科も平成4年度入試より推薦入学を実施し、より目的意識のしっかりした学生を入学させようとしている。尚、昨年度の応募状況は推薦入学66名、一般入学260名であった。

また、知人等で受験希望の方があれば郵便為替で700円を同封して短大教務科まで申し込みいただければ募集要項一式を送付いたします。

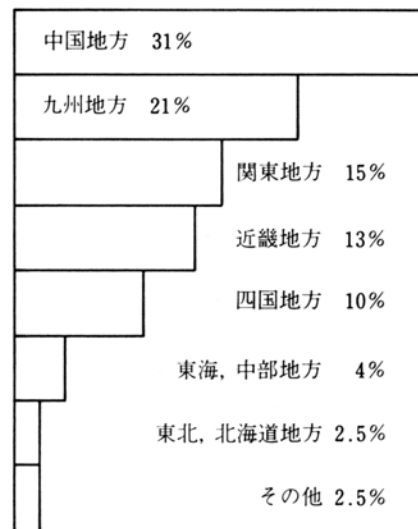
[平成4年度求人求職状況]

本年度の求人状況は11月19日付で382施設、求人数は約827名である。昨年度の同日付と比較すると47施設増（101名増）となり昨年度に引き続き好調である。求人施設の地域別分布を見ると、1位中国地方（約31%）2位九州地方（約21%）3位関東地方（約15%）4位近畿地方（約13%）5位四国地方（約10%）以下、東海・中部、東北・北海道、北陸の順となっている。（図表1）

一方、学生の就職希望先はやはり地元希望が強い様に思われ11月19日現在では在籍53名中、内定者16名、出願・結果待ち18名となっている。比較的ここまではスローペースであるが年明けまでには大部分の学生が就職内定すると思われる。尚、内定者の地域分布は中国地方9名、九州地方4名、近畿地方2名、東北地方1名である。

平成4年度 求人施設状況

求人全施設数 382施設



図表1

（副支部長 荒尾 信一）

[平成4年度同窓会（松丘会）の動き]

代議員会の開催 年1回

理 事 会 の 開 催 年 2 回

常務理事会の開催 年 1 回

(代議員会)

平成 3 年度の事業報告及び平成 4 年度の事業
計画案の決議が行われた。

(理事会)

1995 年（平成 7 年）に松丘会発足 20 周年の記
念行事の企画案，組織運営規定，会員名簿の発
行及び卒業生への記念品などの決議を行った。

(常務理事会)

年間行事予定及び各会議日程等の草案の作成
を行った。

特に今年度は会長交代に伴い臨時代議員会及
び理事会の開催も行われた。

[平成 4 年度放射線技術科支部の動き]

各期同窓会開催に伴う援助金の支給

支部組織の充実

支部会誌の発行（年 2 回を予定）

支部会費の徴収（年額 1000 円）

名簿の作成

[会員の皆様へのお願い]

平成 4 年度の支部会費の納入をお願いしま
す。平成 4 年 12 月 1 日現在で，全体の 63% の会
員の方々が未納となっております。会誌作成，
発送等に支障をきたします。御協力お願いしま
す。

[各期の代表者の方へ]

平成 4 年度の代表者会を平成 5 年 2 月に行い
ますので各期の代表者の方は，必ず出席して下
さい。尚，日時が決定しだい御案内をお送りし
ます。

[市外局番変更のお知らせ]

平成 4 年 10 月 10 日より岡山，倉敷エリアの市外
局番が 3 ケタになりました。

岡 山 0862-**-***** が 086-2**-***** に

倉 敷 0864-**-***** が 086-4**-***** に

船 穂 086552-**** が 086-552-**** に

西大寺 08694-**-***** が 086-94**-***** に

玉 島 08652-**-***** が 086-52**-***** に

[同窓会のお知らせ]

放射線技術科第 4 期生（S58・3 卒）の同窓
会を下記により開催したいと存じます。御多忙
中とは存じますが，万障お繰り合わせの上，御
出席くださいますよう御案内いたします。

記

日時 平成 5 年 3 月 20 日（土） 17：00～

場所 山佐本陣 086-224-1241

〒700岡山市本町 8-23

会費 13,000 円（宴会，一泊朝食付）

8,000 円（宴会のみ）

準備の都合の為，2 月末までに人見剛まで，
葉書か，電話で御連絡下さい。会費は当日受
付でいただきます。

申込み・問合せ

人 見 剛

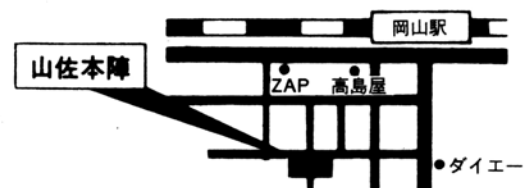
☎701-02

岡山市妹尾 2771 ☎086-282-2624

☎701-01

倉敷市松島 577 川崎医科大学附属病院

中央放射線部 ☎086-462-1111(2914)



(支部長 末森 慎治)

編集後記

あけましておめでとうございます。年末のお忙しい中、原稿を書いて下さった先生方、深く感謝いたします。おかげをもちまして第2号の発刊となりました。どうもありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

さて、昨年12月5日に縁あって、倉友会（九州・山口地域支部）総会に参加させていただきました。会長はじめ会員個々の目的意識の結束、バイタリティ等会誌編集に携わっている自分の反省材料ばかりが目についたものでした。今後とも、倉友会を起爆剤として努力してまいりますので会員皆様の御理解と御協力をお願い致します。

（黒住）

— 御寄稿 宛先 —

〒701-01 岡山県倉敷市松島577

川崎医科大学附属病院 中央放射線部

末 森 慎 治 行

1993年1月15日 発行

編集 黒住 晃 （4期生）

編集発行 川崎医療短期大学同窓会（松丘会）

放射線技術科支部

〒701-01 倉敷市松島316

☎086-462-1111(3050)

印刷 西日本法規出版(株)

〒700 岡山市高柳西町1-23

☎086-255-2181(代)